広報
まつだい
1990／4月
第365号
■発行　新潟県松代町役場総務課　電話　松代7－2220番　平成2年4月9日

冷たい雪の上で熱く燃えた冬の陣

ページ	今月号のご案内
2~5	平成2年度の町の予算
6~9	第3回冬の陣 今年も大成功
10~11	松代町の野鳥 他
12~13	おしらせひろば
14	教職員の異動
15	惜しまれながら休校と閉校・戸籍の窓口
16	文芸・園芸

《人口の動き》　男2,644(－37)　女2,675(－47)　計5,319(－84)　世帯数1,543(－16)
3月末現在　出生2　死亡6　転入30　転出110

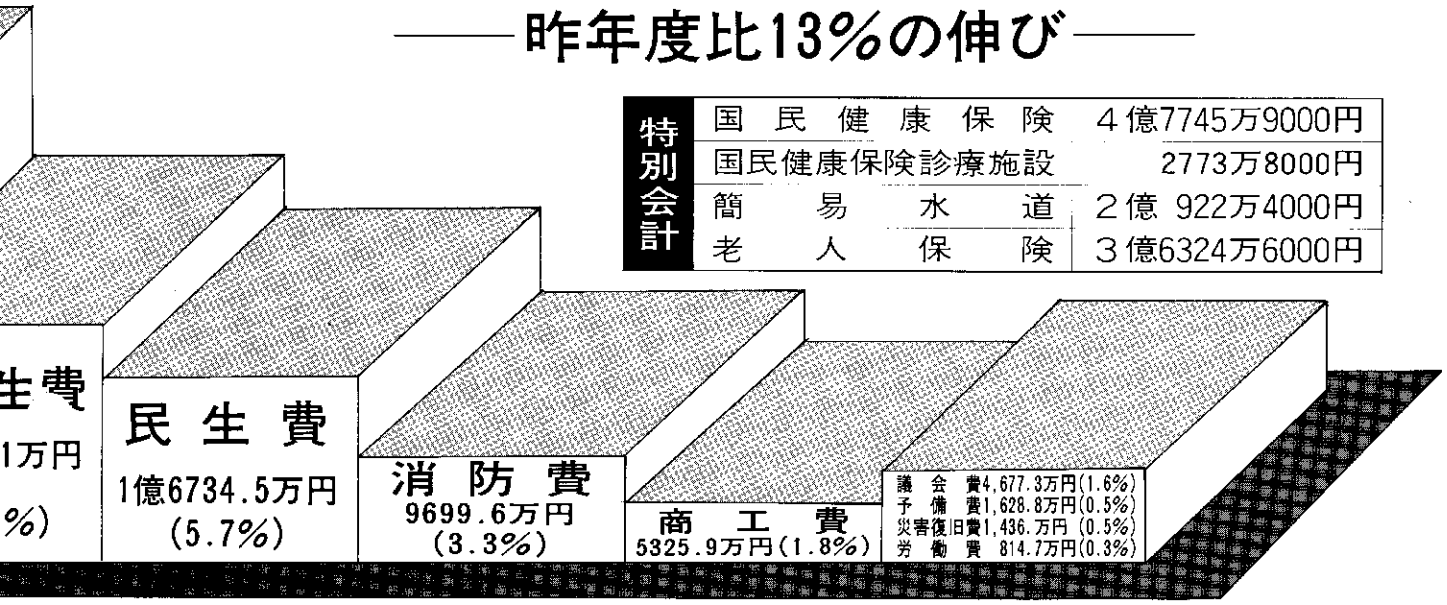
出

平成２年度予算 総額40億3066万7000円

一般会計 29億5300万円に

――昨年度比13%の伸び――

特別会計		
	国民健康保険	４億7745万9000円
	国民健康保険診療施設	2773万8000円
	簡易水道	２億 922万4000円
	老人保険	３億6324万6000円



〝明るく生き生きとした定住の里〟づくりを目指して

私たちの町の平成二年度予算が三月七日から開かれた町議会で可決されました。

今年度の予算編成は、関谷町長が昨年の町長選、町民対話集会をとおして得た皆さんのご意見を反映させるための第一歩でもあると言えます。

主な事業として、ふるさと創生一億円をもととした芝峠温泉開発事業、住宅と企業進出のための団地造成、若者の定住を推進するための「ふるさと定住促進条例」の制定、スキー場、クロカンコース、流雪溝整備等、利雪・克雪対策に重点が置かれています。

〝町づくりの設計書〟でもある予算の概要を簡単に説明してみたいと思います。

ふるさと定住促進条例制定

過疎と高齢化に歯止めを、との願いを実現するための今回の予算の目玉の一つ、「ふるさと定住促進条例」が定められました。

☆新規就労者報償金

Uターン希望者を歓迎し、地元に定着してもらうことを目的としています。

満三十歳未満の〝元町民〟で、町内か町外企業に就職、又は家業を営むためにUターンされた方が対象。就労した日から一年経過すると十万円が支給されます。

☆結婚祝い金

後継者対策の一環として設けられたもので、松代町に居住し、住所を松代町に持つ人が婚姻の届けをした場合、一カップルに三万円を支給します。

☆出生祝い金

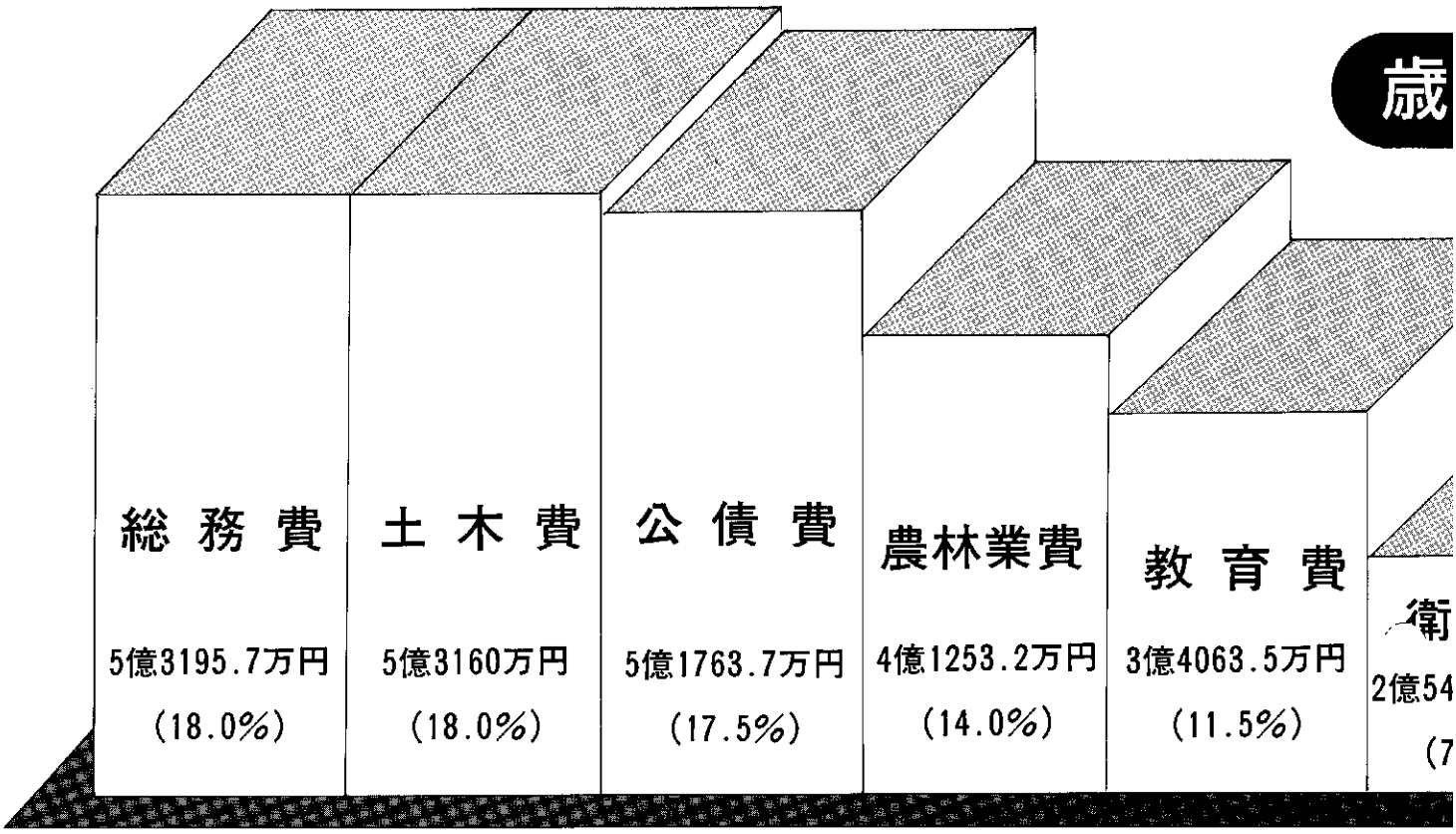
明るく活力ある町づくりを目指した長期展望施策とも言えます。人口の高齢化に歯止めをかけるとともに、〝次代を担う町の財産〟でもある子供の誕生をお祝いします。

松代町に住み、住所がある夫婦の間で誕生した子供で、第一子と第二子までは二万円、三人目以降は一人について三万円の祝い金が贈られます。

保育料の軽減と高齢者福祉の充実へ

保育料の軽減は、「保育園の保育料が高いがなんとかして…」と保育園に通う子どもを持つ親からの声に応えたもので、所得階層により定められた国の基準額を大幅に抑え、子供を安心して保育園に通園させて親の負担を軽減するとともに夫婦共稼ぎを助長し、所得の安定化にも手助けすることとなります。

また、高齢者の福祉対策として家庭奉仕員（ホームヘルパー）を一人増やして三人に。



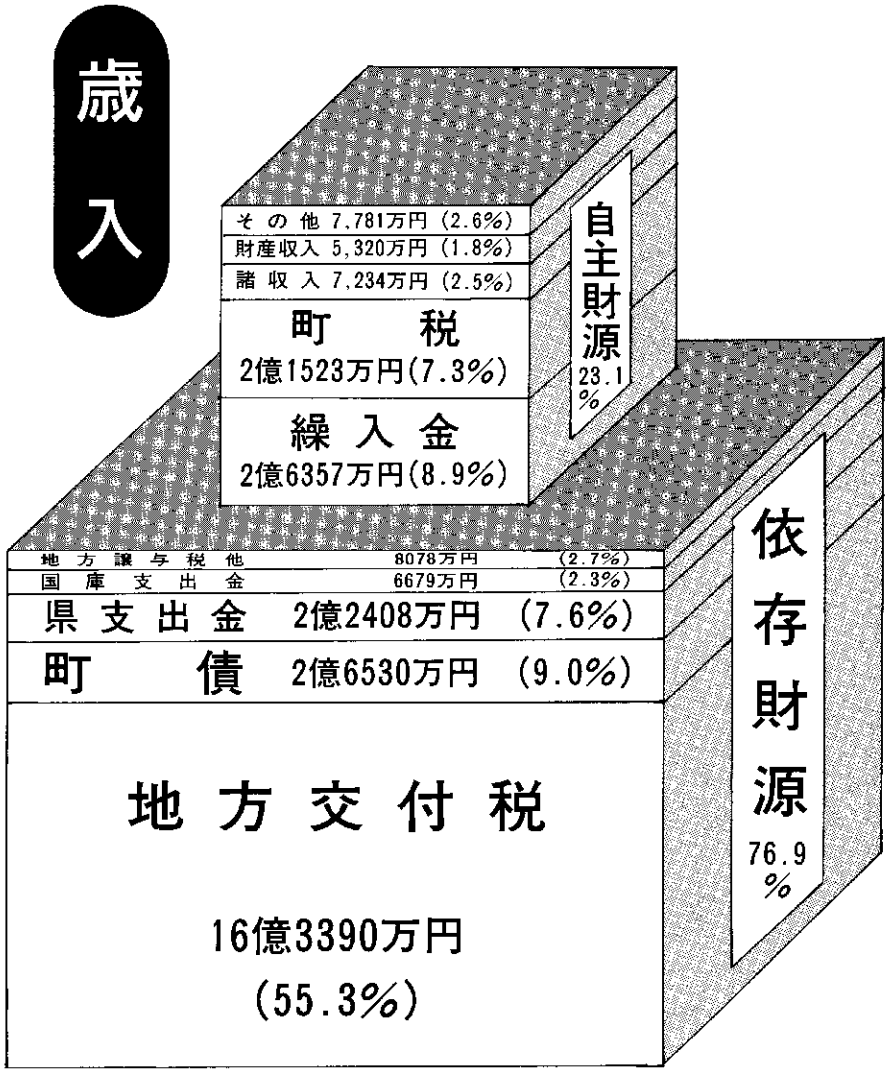
町内全域にゆき届いた福祉サービスを展開し、お年寄りが安心して暮らせるお伝いをします。

さらに、老人憩の家「渋海荘」の二階を自炊生活できるように改築します。このことにより、冬期間〝道つけ〟や〝雪掘り〟ができないお年寄りを雪から一時的に守り、生まれ育った自然豊かな松代の地を離れることなく、安心して暮らしていただけることと思います。

共同浴場を建設

昨年九月に芝峠で噴出した温泉を町民のみなさんから楽しんでいただくために今年からいよいよ開発に着手します。

〝ふるさと創生一億円〟の活用の三本柱の一つで、今年は共同浴場的施設の建設が計画されています。そして運動公園、観光農園、スポーツ施設などを来年度以降順次整備し、町の観光の核として位置づけることとしています。



四月からこのメンバーでこんな仕事に取り組みます

産業課を産業企画課に、社会課を住民課にするなど役場内の機構の改革を行いました。このことにより職員の配置変えがありましたので各課ごとの職員も併せて紹介します。
なお、ほんの一部ですが業務内容をお知らせいたします。

総務課

課長　関谷政和
副参事　高橋嵩一
○佐藤達夫（議会・選挙・監査）
米持敏雄（広報）
斉藤一良（財政）
市川健司（防災・交通）
石口松男（〃）
牧野恵子（庶務）
西方慶子（〃）
田辺栄子（〃）
小野島美津子（〃）

議会運営費	4,677万円
嘱託員行政事務委託	703万円
広報等印刷費	400万円
交通安全対策	328万円
農業委員会委員選挙	200万円
上越地域消防負担金	5,687万円
消防施設費	2,166万円
奨学金貸付	252万円

○印は係長（以下同）

税務課

課長　鈴木利雄
副参事　山賀八郎（税1）
樋口良平（税１）
佐藤和美（〃）
○相沢守（税２）
松澤明男（〃）

賦課徴収費	1,174万円

収入役室

収入役職務代理
副参事　西潟浩平
○斉木勉（出納）
小堺月子（会計）

住民課

課長　武田三郎
○柳健一（福祉）
市川英世（〃）
柳久（〃）
山本勇人（社協）
鈴木孝子（松・保）
石口町子（〃）
柳ふじえ（〃）
西潟定子（〃）
若月美津江（〃）
山岸トシ子（〃）
佐藤キヨノ（室・保）
佐藤千枝子（〃）
山岸喜美江（浦・保）
佐藤好子（〃）
本山絹江（犬・保）
柳みね子（〃）
○山賀茂（住民）
柳広美（〃）
○小山武司（保健衛生）
高橋勝（〃）
大野保了（〃）
数井和代（〃）
酒井由美子（〃）
高橋淳子（〃）
○宮沢諄一（水道）
柳裕（〃）
菅井正一（〃）
○米持恒敏（国保）
室岡徹（〃）
斉木美恵子（〃）

家庭奉仕員賃金等	482万円
老人クラブ活動費	204万円
重度・心身障害者医療費扶助	438万円
渋海荘内部改修工事等	250万円
保育所運営費	7,952万円
国民年金事務費	1,068万円
戸籍事務費	1,075万円
健康診査委託料	2,196万円
危険物・ゴミ収集委託	1,026万円
配水管布設替工事、他(簡水会計)	5,250万円
簡易水道特別会計へ	7,760万円
国民健康保険会計へ	2,670万円
老人保健特別会計へ	1,846万円

教育委員会

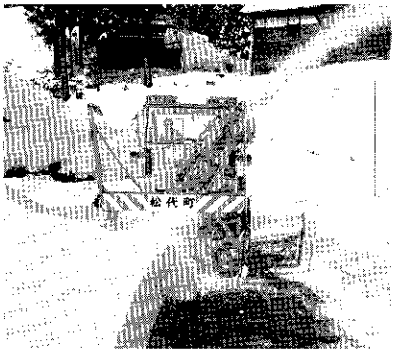
教育長　関谷昭平
公民課長　佐藤公男
○相沢哲夫（庶務）
柳ハルエ（〃）
村山盛儀（松中）
山岸幸雄（蒲小）
樋口幸作（北小）
柳早苗（松小）
万羽洋子（孟小）
佐藤弘（奴小）
○堀川一郎（学校教育）
石口丈夫（公民館）
桑原タマ（〃）
樋口彰（社教）
○鈴木幸紀代（社体）
佐藤徹夫（〃）

町内小学校管理費
1億 969万円
中学校管理費　4,870万円
教育用コンピュータ購入
1,500万円
中学校生徒遠距離通学補助金
587万円
体育館ピロテー等整備　250万円
スポーツトラクター購入
250万円

建設課

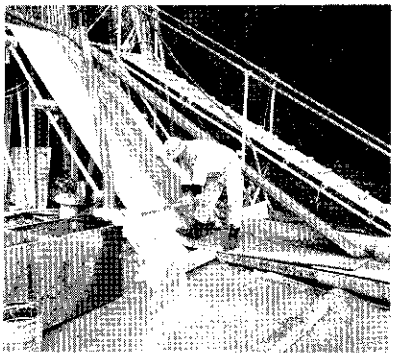
課長　高橋秀夫
参事　池田猛
○高橋宣泰（農林）
萬羽美栄（〃）
鈴木清彦（〃）
関谷栄治（〃）
高橋祥郎（〃）
○室岡茂（土木）
佐藤信一（〃）
高橋博（〃）
茂野孝蔵（〃）
○柳善雄（業務）
福原満江（〃）
○斉木芳治（機械）
秋山益太郎（〃）

名平・池尻地区農道舗装
4,193万円
農道・圃場整備補助金
1,768万円
芝峠地区・蓬平地区かんがい排水工事
3,560万円
町道除草剤・散布機　260万円
蓬平・田沢・小屋丸駐車場整備
390万円
松代・海老・東山線改良工事
3,010万円
冬期保安要員報酬　873万円
家屋周辺等雪処理対策
640万円
除雪ロータリー車購入
2,466万円
奴奈川地区流雪溝・千年ファミリー
スキー場整備事業　1億5,050万円
克雪住宅資金貸付金　3,500万円



産業企画課

課長　若月幸栄
参事　松永勝
副参事　馬場利夫
（地域振興）
○関谷英市郎（企画）
佐藤則夫（〃）
小堺定男（地域振興）
武田芳夫（〃）
相沢幸一（産業振興）
柳利彦（〃）
柳裕子（〃）
○米持徳二（商工観光）
石口博雄（〃）
室岡秀俊（東頸広域）
山岸正孝（〃）
○鈴木太一郎（農・委）



温泉・共同浴場整備
9,478万円
クロカンコース整備
3,680万円
公共用地測量　530万円
ふるさと定住対策　245万円
東頸城広域組合（農業共済）補助金
2,850万円
ライスセンター建設補助金
3,547万円
観光パンフレット等作成
117万円
キャンプ場便所増設　400万円

お天気も味方 第3回 冬の陣 大盛況

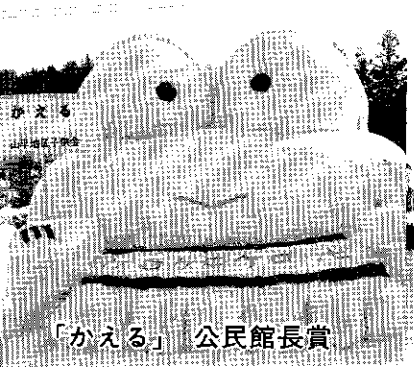
3月10・11日

天候をも味方に入れてしまった「冬の陣」。人出も今までで最高の五千人とか。

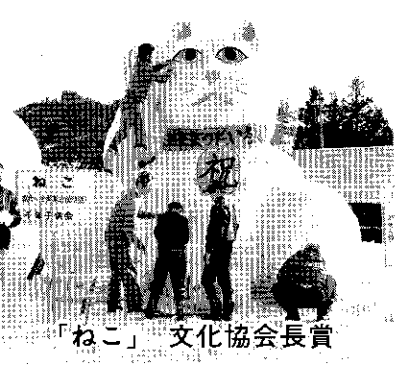
一歩町外に出れば雪は見られない少雪の今年。関係者の努力で集められた雪が祭りの主役となりました。こんなにも雪の上での祭りが楽しいものだとは思わなかったのではありませんか？「冬の陣」は町内の祭りから町外の祭りへと大きく飛躍しました。

雪の芸術展

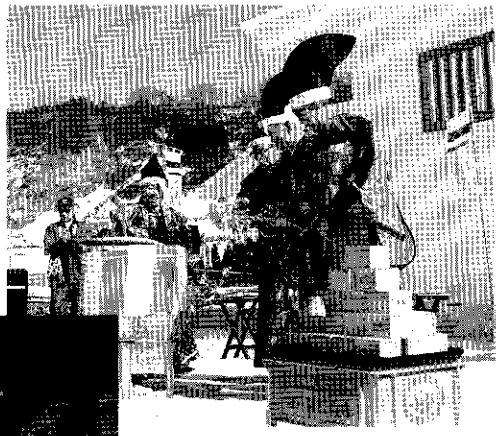
少雪の中で雪を集めて行われました。春の雪はザラメで扱いにくいながらも、参加した六つの子供会のみなさんはチームワークで立派な雪像を完成。雪祭りにふさわしい演出をしてくれました。



「かえる」 公民館長賞

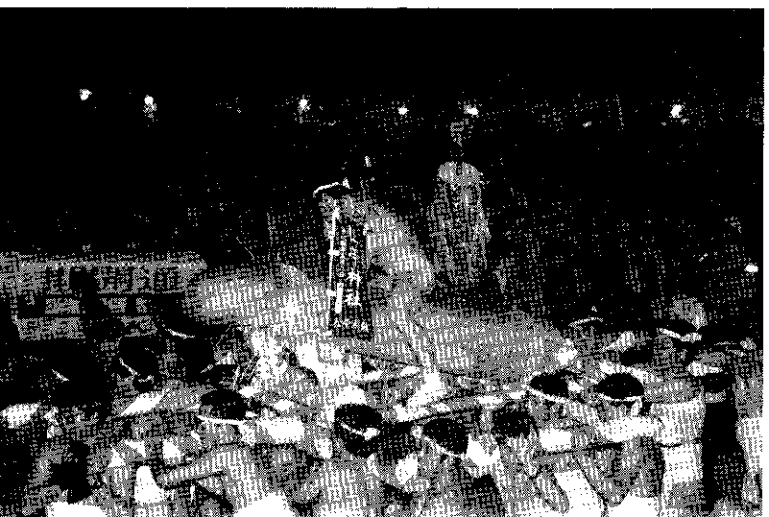


「ねこ」 文化協会長賞


→鏡割りで祭りがスタート

←さいの神の火柱が高々と燃え上がる

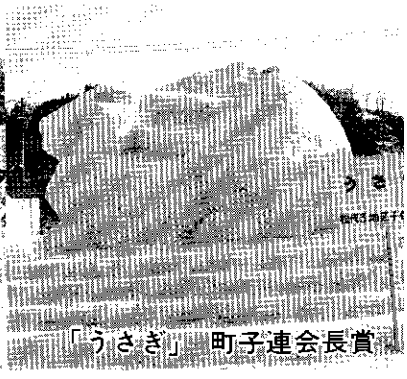
子供たちの鳥追いうたが夜の部の〝火付け役〟に↓


←大勢の人出の中をみこしがねり歩く
活き生き賞の松寺ビンビンみこし（犬伏）

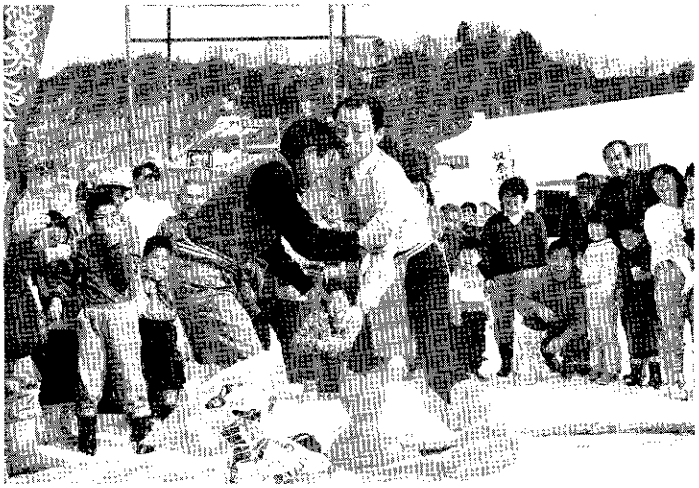
潟東村から子供会の太鼓を披露
↓祭りの盛大さに驚いていました

「たぬき」教育長賞

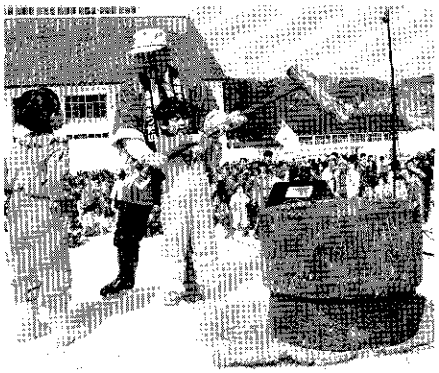
大賞　「さる」　雪の芸術展部会長賞　「パンダ」教育振興会長賞



「うさぎ」町子連会長賞



群馬から自衛隊音楽隊も応援に



ステージ上ではうすを使ってモチつき

雪中相撲大会

○子供の部

優勝　上屋　裕輔（西川町）
２位　加藤　裕司（埼　玉）
３位　小堺　吉徳（儀　明）

○大人の部

優勝　数井　憲一（松　代）
２位　山本　一男（孟　地）
３位　小林　幸二（滝　沢）

見る人をウットリさせる雪上アトラクション

ジュニア元気会の冬の陣みこし

中町の火の用心みこし

蒲生の珍宝みこし

元気会の空きカンみこし

松苧みこし（親町）はアイデア賞

越後松代北越北線みこし（室野）総合優勝

居並ぶ戦士の前で３代目城主認定証が東郷さんに授与される

城主
東郷　泰さん（高田白衛隊）

城代家老
植木貴幸さん（松　代）

侍大将
関谷浩行さん（新潟市）

○印はグアム当選
以下敬称略

4　室岡　春男（仙　納）
5　室井　富男（高田自衛隊）
6　西村　利夫（柏崎市）
7　石井　政男（高田自衛隊）
8　藤田　健男（浦川原村）
9　室岡　正宏（仙　納）
10　市川　彰次（池之畑）
11　春日　　亘（十日町市）
12　佐藤　俊一（新潟市）
13　草村　康夫（室　野）
14　今成　範夫（六日町）
15　中沢　　実（木和田原）
16　丸山　洋一（小千谷市）
17　江村　陽一（高田自衛隊）
18　松山　邦夫（犬　伏）
19　吉田　直彦（松　代）
20　菅井　太一（名　平）
21　相沢佐一郎（太　平）
22　菅井　一之（新潟市）
23　関谷　　正（東　京）
24　野沢　雅行（松代分所）
25　渡辺　幹雄（新潟市）
26　柳　　貞治（苧　島）
27　佐藤　勝吉（室　野）
28　谷中　重樹（東　京）
29　小野島静夫（会　沢）
30　相沢　　勇（太　平）
31　石塚　貞二（上越市）
32　鈴木　正利（松　代）
33　佐藤　正樹（高田自衛隊）
34　米本　徳義（東　京）
35　神田　昌彦（上越市）
36　高橋トモ子（松之山町）
37　田辺　智幸（六日町）
38　高橋　重一（松　代）
39　鈴木　明雄（松　代）
40　近藤　晃彦（小千谷市）
41　楠　　剛（上越市）
42　米持　英雄（松代病院）
43　小林　　守（松代分所）
44　小松　伸幸（ＢＳＮ）
45　中村　善信（松　代）
46　石田　安一（苧　島）
47　宮本　隆一（松　代）
48　野沢　和則（松　代）
49　若井　　聡（松代病院）
50　栗田　秀樹（上越市）
51　高橋　哲生（上越市）
52　高橋　公一（上越市）
53　飯山　一男（上越市）
54　村田　明彦（新潟市）
55　柳　　正勝（鉄道公団）

のっとれ松代城
三代目城主 東郷泰さんが奪取！

「冬の陣」のメインイベントとして祭りを盛り上げてきた「のっとれ！松代城」。三回目となった今回は、〝女の60分〟のテレビ取材とグアム島旅行プレゼントも手伝ったのか町外者からの申込みがぞくぞく。予約申込みの段階で予定の二百人いっぱいになり、キャンセル待ちが出るほどに。

二・五㌔のコース内に待ち受ける難所を物ともせずに走り抜け、見事三代目城主となった高田白衛隊所属、東郷泰さん(27)は、レース後、鎧かぶとに身を包み「陸上部の経験はありましたが思ったよりきついレースでした。賞品のコシヒカリ一石は神奈川の実家に送ります。もちろん来年も出ます。」と意欲満々。

初代城主の山賀健一郎さん（池之畑）、二代目牧田義明さん（峠）に次いで三代目城主として東郷泰さんの名前が松代城に残ることになります。

〝女の60分〟の杉田こゆりさん、中安みゆきさんの両アタッカーも意気揚々と入場

188名の戦士に村山突撃隊長の檄がとぶ

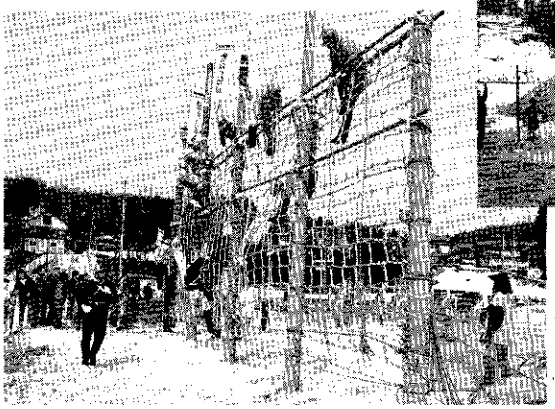
124 林　淳(鉄道公団)
125 大野　槇子(東　京)
126 伊藤ルリ子(東　京)
127 小島　文彦(松　代)
128 中沢　良男(下田村)
129 安田　佳央(東　京)
130 斉木　幸吉(松代病院)
131 駒井　真弓(東　京)
132 石口　朋子(白根市)
133 保苅　洋一(黒埼町)
134 山口　聡子(松代高)
135 若井美和子(松代高)
136 青山　友之(川崎市)
137 水野　俊哉(上越市)
138 小堺　明美(松代高)
139 富沢　恭松(松　代)
140 松本　直子(東　京)
141 海野　和之(東　京)
142 市川　道雄(池之畑)
143 中沢　明美(下田村)
144 荻野　洋子(三和村)
145 桜沢　正一(松　代)
146 山岸　和美(蒲　生)
147 伊藤　誠(東　京)
148 金子　敦(相模原市)
149 山賀恵美子(松代高)
150 山岸　正美(松代高)
151 村山　澄江(松代高)
152 若月　直美(松代高)
153 小林雄一郎(上越市)
154 服部　修一(鉄道公団)
155 藤代　有人(川崎市)
156 羽鳥奈緒美(松代高)
157 下村　弘美(横浜市)
158 高橋美和子(松代高)
159 関谷美由紀(松代高)
160 本柳　幸子(松代高)
161 宮沢みどり(松代高)
162 佐藤美由紀(松代高)
163 浅野　久子(東　京)
164 柳　佳子(松代高)
165 福島由紀子(松代高)
166 相沢みどり(松代高)
167 池田　直美(松代高)
168 古田　宏(鷲ヶ谷市)
169 保坂　芳彦(中里村)
170 端　佐知子(船橋市)
171 鈴木　妙子(松戸市)
172 阿武　泉(流山市)
173 柳　明美(松代高)
174 小堺　和美(松代高)
175 丹保あずさ(東　京)
176 山本　由里(東　京)
177 金子　真弓(横浜市)
178 米原美代子(東　京)
179 不破　章夫(東　京)
180 大窪めぐみ(草加市)
181 水野　智子(東　京)
182 鍵山　利行(東　京)
183 藤村　敦子(東　京)
184 大平ゆり子(上越市)
185 関　則子(上越市)
186 浜田留美子(上越市)
187 杉田こゆり(テレビ朝日)
188 中安みゆき(テレビ朝日)

56 山賀　浩一(小荒戸)
57 柳　努(松　代)
58 太田　正明(新潟市)
59 永井　泰(室　野)
60 山田　孝司(東　京)
61 樫井　正敏(柿崎町)
62 市川　善作(松　代)
63 本柳　学(松代高)
64 高松　義広(中郷村)
65 三橋　孝博(横浜市)
66 阿部　芳孝(新潟市)
67 水野　幹久(東　京)
68 山岸　宏(木和田原)
69 高橋　将樹(上越市)
70 米持　義典(室　野)
71 田中　敏也(東　京)
72 波形　和弘(松代病院)
73 岩崎　健治(中郷村)
74 珊瑚　修(松代病院)
75 若井　剛也(蓬　平)
76 高波　義明(中郷村)
77 滝沢　恵一(大島松役場)
78 柳　信夫(千　年)
79 原　正臣(館林市)
80 佐藤　孝之(大和市)
81 小松　哲也(鉄道公団)
82 若月　庚平(孟　地)
83 浦野　正樹(志木市)
84 西　博之(川崎市)
85 斉藤　正彦(上越市)
86○山岸　真志(松代高)
87 相沢　一文(松代高)
88 小堺　光博(松代高)
89 南雲　靖夫(上越市)
90 久保田忠雄(上越市)
91○岡田　祐樹(上越市)
92 久保田　傑(東　京)
93 若月　誠(海　老)
94 丸山　志穂(松代高)
95 箕輪　隆久(柿崎町役場)
96 中西　俊之(川崎市)
97 武田　和美(上越市)
98 福原　正子(松之山町)
99 麦倉　哲(東　京)
100 大屋　和隆(所沢市)
101 尾崎　利行(鉄道公団)
102 早川新八郎(豊栄市)
103○寺門　征男(東　京)
104 日吉　哲也(東　京)
105 富樫　義昭(新発田市)
106 藤田サト子(津川原村)
107 長井　芳次(柿崎町役場)
108 二宮　徹(川崎市)
109 武田　清子(千　年)
110 後藤　好美(東　京)
111 安尻　正樹(上越市)
112 服部　則子(室　野)
113 斉藤美智子(田野倉)
114 相沢タツ子(太　平)
115 酒田フサ子(東　京)
116 柳　智子(松代高)
117○美素　金八(新座市)
118 柳　ふじえ(松　代)
119 須貝由美子(松代病院)
120 赤井　孝吉(名古屋市)
121 垣間　保志(鉄道公団)
122 森園　晃士(鉄道公団)
123 鶴田　陵治(東　京)

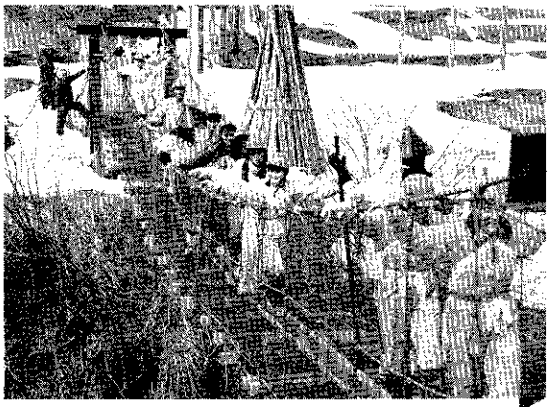
↓剣が峯　高い所は苦手なんだ

↑馬落し、力を借してぇ

↓騎馬止め破りで一苦労



↑砦越え　あまり急な雪山に
足が止まってしまいます。



↑堀越え　スイスイとは滑りません

↓地獄谷　気分はターザン

↑戦場に架ける橋　みんなで渡れば
怖くない

←石垣登り　ゴールはすぐそこ

松代町の野鳥 シリーズ㊲ キビタキ

松永 洸

もう、松代町総合センター裏の林で、オーシック、ポッポロリ、ポッポロリーというような鳴き声が聞けますか？

今回は、日本の三鳴鳥のオオルリ（昭和六十二年六月号、シリーズ④参照）に次いで、姿、声ともに美しい鳥で、「黄色のマユ」をしたヒタキという意味の、キビタキについて書いてみます。

本種は、スズメ目ヒタキ科ヒタキ亜科に属し、日本には夏鳥として渡来します。松代町には、ブナが芽ぶく四月中旬ころに渡って来て、若葉のかげで、美しいサエズリを聞かせてくれ、普通に観察できる鳥ですが、やっかいなことにオオルリのように目立つところにあまり出ず、木の葉のかげ等で好んでサエズリ、声だけで識別しようとするとオオルリにまちがいやすいのです。オオルリのサエズリは最後に「ジジッ」というような声が入るのでキビタキと識別できます。しかし「ジジッ」と入らない時もありますので、こんな時はゆっくりと聞きわけなければ種類をまちがってしまいます。本種は、百羽いれば百羽ともそれぞれ鳴き方がちがい、姿と声が一致しない鳥と言われています。探鳥会でこの鳥が鳴き出したら、姿を発見するまで確答をさけた方がよいと言われるほど探鳥会の講師泣かせの鳥の一種です。

形態は一度見たらすぐおぼえられるくらいはっきり目立つ色彩をしています。大きさはスズメよりやや小さく、雄は上面が黒く、翼には背面から見て逆八の字形に白斑があり、眉斑と腰は黄色、喉から胸はオレンジ色がかった黄色で、腰は白色。雌は雄に比較して地味で、全身がほぼ一様に緑褐色で腹部は汚白色であり、腰から尾の上面にかけてやや赤味のある色彩となっています。サエズリは最初に書きましたように鳴きますが、熱が入ると、ツクツクオーシ〳〵と入ります。地鳴きはピッピッ、クルルッというように鳴き、雌は、ヒヒ、ヒヒと鳴くということです。

本種の繁殖ナワバリは、直径百mから百五十mで、低山帯の落葉広葉樹林や針、広混交林、亜高山帯の林などで生活し、樹洞や、倒木の折れ口の穴のほか巣箱に営巣し、他のヒタキ類のように木の枝には作りません。巣材は落葉広葉樹の枯葉つる、蘚類、コケなどを利用し、直径五、五cm位の巣を作ります。巣を作る場所は、地上六m位の高さで、口径（巣の入口の穴）が五～十cmの樹洞が多く、営巣樹は孤立木で周囲に大きな空洞があり、巣の下二m前後のところに必ず低層木が密生している所にあります。これは地上に生息する天敵の目をくらますのに役立っているということです。巣ができますと雌は

春の全国交通安全運動

4月6日～4月15日

スローガン

守ります　ぼくもわたしも　交通ルール

重点

㈠ 子供と高齢者の歩行中、自転車乗車中の交通事故防止

㈡ 若者運転者による無謀運転の防止

㈢ 正しい方法によるシートベルト、ヘルメットの着用の徹底

高齢者の交通事故防止 県民運動の実施

期日

平成二年四月一日から平成三年三月三十一日までの一年間

スローガン

お年寄りも、横断歩道は手をあげて

お年寄りの交通安全五則

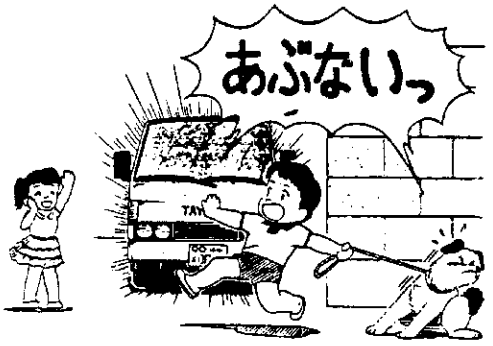
①外出したときは、明るいうちに帰宅しよう。

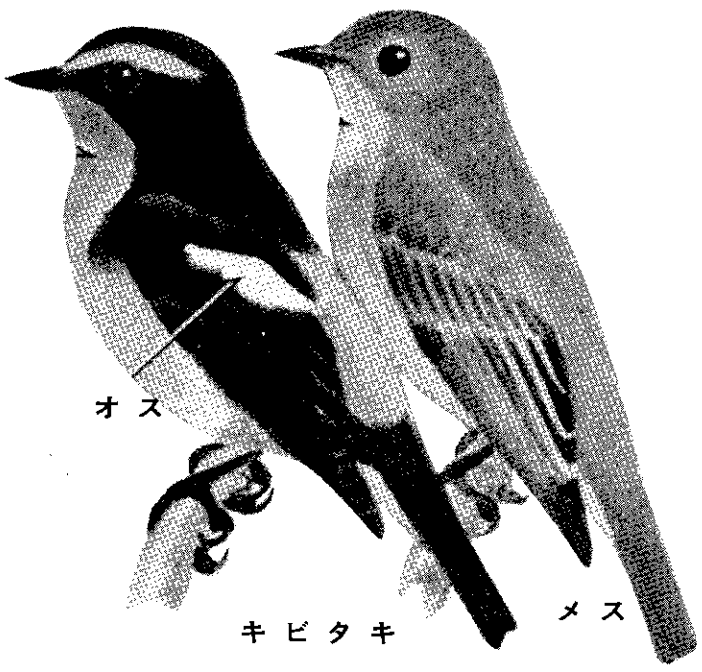
②歩道のある道路では必ず歩道を、歩道のない道路では右端を歩こう。

③道路は右、左の安全を確かめて、無理しないで渡ろう。

④踏切では必ず一度止まって、右、左の安全を確かめよう。

⑤自転車で右へ曲がるときは、一度止まって右後ろの安全を確かめよう。





青白い地に淡紅色のまだら模様のある卵を四～五個産み、十二～十三日間抱卵します。この間他の鳥にみられるような抱卵中の雌に対し雄は餌を運ぶというような行動はないとの報告があります。雌は抱卵しながら短時間で巣を離れて餌を食べたり用をたしたりするのです。しかし雛がかえるとそれまで何もしなかった雄は、餌運び、雛のフンの運び出しなどを行ない、雌に協力して子育てをします。餌運びは、巣立ち一日前には合計一九四個とひんぱんに餌運びをしています。このように親鳥に育てられた雛は十二日位で巣立ちをします。雛に運ぶ餌も、親鳥の餌もゴミムシ、コメツキムシ、クロバエ、イエバエ、キンバエなどの昆虫が主食で、秋にはツルマキサの実、ヤブマメなどの植物も食べることが知られています。

キビタキには方言が割合多く、キクイタダキ、キタキ、ワタリヒタキ、ツクツクボウシ、キミタキ、コルリ、ヒタキなどがあり全国的にももっと多くなります。方言のキクイタダキは、別にヒタキ科ウグイス亜科に、正準和名のキクイタダキがおり、これは姿と声が一致しないまま誰かがキクイタダキと言ったことがそのまま残ったもののようですし、ワタリヒタキは夏鳥として渡ってくることからつけられたものと思います。そのほかツクツクボウシは鳴き声からと思われます。

松代町ではこれから、あちこちで、キビタキの声を聞くことができますが、松代区、松代城跡公園、訪平、池尻、蒲生、室野、蓬平、犬伏、孟地方面のブナ林に多いようです。いつかまた松代町でキビタキのサエズリを心ゆくまで聞けることを楽しみにしてこの項を終ります。

（ご愛読いただいています「松代町の野鳥」は五月、六月と筆者の都合で休ませていただきます。）

山火事防止運動

4月1日～5月10日

〈統一標語〉

ひろげよう 森への感謝と 防火の輪

焚火による火災防止運動

4月15日～5月14日

○重点事項

1、水バケツ等を準備し、焚火の場所を離れる時は、完全に消火すること。

2、ただこの吸いがらは、必ず消すこと。

3、車からたばこの吸いがらを投げ捨てないこと。

4、強風又は異常乾燥の時には焚火・野焼きをしないこと。

5、枯れ草等のある危険な場所では、焚火等はしないこと。

6、焚火等をする時は、必ず監視人をつけておき、火勢を大きくしないように、監視を怠らないこと。

7、火入れの許可は必ず受けること。

4月の14日と28日は役場は休みです

（第二・第四土曜）

◎戸籍関係（出生・死亡・婚姻）の受け付けは、日直の役場職員が受け付けをします。
◎保育園は休みません。

上越保健所から移動相談のお知らせ

〔公害移動相談〕
※公害環境関係でお困りの方
◎日　時　毎月第四月曜日
・役場内での相談
午前10時30分～12時30分
・現地調査
午後一時～三時
◎場所
・松代町役場（5月と11月）
・松之山町役場（4月と10月）
※郡内他町村でも月を定めて行っています。群しくは役場住民課保健衛生係へ。

〔衛生関係相談〕
※食品、理容、美容、クリーニング等の相談を受け付けます。
◎期　日
毎週月曜～金曜日（火・金曜日は保健所担当者）
◎場　所
大島村役場内食品衛生協会

運転免許証の更新は松代で

例年実施しております運転免許証の出張更新手続業務を今年も安塚警察署、郡安全協会の特段のご配意により継続させていただくことができました。
四月より十一月までの間、毎月第三金曜日に総合センターにて実施いたしますのでご利用ください。

注意事項
※受付は、午前九時より十一時までにお願いします。
※深視力検査ができない為、大型・二種免許の更新はできません。
※新しい免許証の郵送手続きはできません。

手続に必要なもの
○免許証
○収入証紙　二五〇〇円分
○協会費　一五〇〇円
○写真一枚（氏名・住所変更にはもう一枚）
○都安協発行のハガキ
※安塚警察署窓口での更新手続きは、第二・第四土曜日が休みとなりますのでご注意下さい。

交通安全協会松代支部

確定申告を忘れていたら

税務署の調査を受けた後で、修正申告したり、更正を受けたりすると、新たに納めることになった税額の他に、過少申告過算税などがかかります。しかし、税務署の調査前に自主的に修正の申告をすると、過少申告加算税はかかりません。
また、万が一、確定申告を忘れていた場合には、すぐ「期限後申告」をして下さい。期限後申告も税務署の調査を受ける前に自主的に申告すると、無申告加算税が軽減されます。できるだけ早く、自主的に申告して下さい。

心配ごとの相談は
毎週金曜日午前九時～午前十一時三十分
会場＝長命寺へどうぞ。

平成元年度

共同募金実績報告

昨年十月から三ヶ月間に渡り実施いたしました共同募金及び歳末たすけあい運動には町内の各世帯にお願いした戸別募金をはじめ、学校、職域と各方面の方から温かい心が寄せられました。
今年度も、ねたきり老人や福祉施設入所者に慰問金を送り大変喜ばれました。
寄せられた募金の総額及び配分は次のとおりです。
○募金総額
一一八万五七三・六円
○配　分
A配分＝県の民間施設や団体のために
三〇万五〇〇〇円
B配分＝松代町社会福祉協議会へ　七三万七二六円
C配分＝ねたきり老人介護手当や施設入所者慰問金
十五万円

くらしにやくだつおしらせひろば　くらしにやくだつおしらせひろば

くらしにやくだつお◯らせひろばくらしにやく◯だつおしらせひろば

国民年金ではこんなとき こんな届出が必要です

国民年金の加入者は第一号・第二号・第三号被保険者の三種類に分かれています。

二十歳の誕生日を迎えたとき、結婚をしたとき、または本人や配偶者が転職した場合などには、加入種別が変りますので、そのつど届出が必要となります。該当される方は、すみやかに届出願います。

詳しいことは役場住民課、国民年金の係へ（☎七―二二二〇）

種別が変わったときは速やかに手続きを

	種別の変更	事由	届出の種類
一号該当	未加入者→第1号被保険者	２０歳に到達	資格取得届（１号該当届）
	第2号被保険者→〃	会社を退職	〃（〃）
	第3号〃→〃	配偶者が退職して自営業に	種別変更届
二号該当	第1号被保険者→第2号被保険者	会社へ就職	資格喪失届
	第3号〃→〃	共稼ぎ開始	〃
三号該当	未加入者→第3号被保険者	大学を卒業し会社員と結婚	資格取得届（３号該当届）
	第1号被保険者→〃	家事手伝の人が会社員と結婚	種別変更届
	第2号被保険者→〃	本人離職（結婚退職・共稼ぎ中止）	資格取得届（３号該当届）
	第3号被保険者→〃	配偶者転職（厚生年金↔共済年金）	種別確認届（申出書）
喪失	第1号・第3号→資格喪失	６０歳到達	自動的に資格喪失

（任意加入者は除く）

五月三日（憲法記念日）一〇五名が成人の仲間入り

松代町の成人式は、五月三日（憲法記念日）午前十時より町総合センターで開催されます。

本年度の対象者の方へは、ご案内いたしましたが、転出転入等で案内もれの方がありましたら町公民館までご連絡下さい。（☎７―２３０１）

尚、平成２年度の成人式対象者は、昭和四十四年四月二日から、昭和四十五年四月一日生まれまでの方です。

たくましく成人された晴姿をみなさんでお祝いをいたしましょう。

春の防犯運動が実施されます

期間
四月二十一日から四月三十日まで

重点
㈠ 防犯は 日ごと 家ごと 地域ごと
㈡ カギをした その手その目で もう一度
㈢ キー抜いて 気をぬかないで ドアロック
㈣ ちょっとまで 車をおりたら すぐロック
㈤ ふれあいと 対話が育てる 子の未来

◎被害にあったら現場をそのままにして、まず一一〇番してください。

エアロビクス教室を開きます

◆**日時** 4月21日～11月17日の第一、第三金曜日（祭日の場合は次週）夜八時～九時三十分

◆**会場** 町総合体育館柔剣道場

◆**講師** 十日町エアロビクスインストラクター、「十日町エリア・ドウ」

◆**対象** 一般女性

◆**受講料** 二五〇〇円（年間）

◆**申し込み** 人数把握のため4月18日㈬までに受講料持参の上、体育館へ（☎七―二三七五）

労働保険の申告・納付はお早めに

平成二年度の労働保険料の申告と納付の受付けが、四月一日から五月十五日まで行われています。

まだ、手続きのお済みでない事業主の方は、なるべくお早めに保険料申告書に保険料を添えて、最寄りの銀行等に申告納付して下さい。

十日町労働基準監督署

小・中・高教職員異動

転出された先生（ありがとうございました）

敬称略（ ）内は新任地

【校長・教頭】

▽清水小・校長
矢嶋継男（糸魚川市浦本小）
教頭
平沢　忠（新井市矢代小）

▽孟地小・校長
田中達久（吉川町源小）
教頭
桑原　喬（津南町上郷小）

▽北山小・校長
広川邦夫（見附市教委）
教頭
鼻山徳治（上越市富岡小）

▽蒲生小・教頭
江口俊博（柿崎町上下浜小）

▽奴奈川小・校長
村沢真琴（板倉町宮島小）

▽茑平小・校長
濱口　剛（長岡市坂之上小）

▽蓬平小・校長
市村幸雄（牧村牧小）
教頭
本柳宗一郎（湯沢町三国小）

▽松代中・教頭
横尾元則（真野町西三川中）

【教　諭】

▽孟地小
土田和夫（上越市和田小）
坪谷秀雄
（塩沢町第一上田小）
能登かおる
（上越市戸野目小）

▽北山小
井上　功（松之山町浦田小）
井上政身（安塚町安塚小）

▽蒲生小
早川政宏（長岡市楢吉小）
岩崎泰子（新井市長沢小）

▽奴奈川小
岩崎一成（上越市東本町小）
内田宣子（上越市飯小）

▽儀明小
西出佐恵子（新井市新井小）

▽茑平小
吉田美枝（妙高村原通小）

▽蓬平小
中村親志（上越市小猿屋小）

▽松代中学校
長沢文夫
（上越市直江津東中）
松永哲郎（上越市城北中）
市川亨子（上越市城西中）

【主　査】

▽松代小・栄養士
市川裕子
（松之山町松之山中）

【退　職】

樋口八重美（松代小）
古島トシ子（松代小）
中沢正世（松代中）

◎県立松代高等学校
【教頭】

藤本恵一（十日町土木）

【主事】

藍木　新（長岡大手高）

【教諭】

笠原　徹（加茂農林高）
樋口　信（十日町高）

新しく来られた先生（よろしくお願いします）

敬称略（ ）内は前任地

【校長・教頭】

▽孟地小・校長
長谷川正雄
（新井市新井北小）
教頭
竹原　忠（頸城村南川小）

▽北山小・校長
高橋孝雄（見附市名木野小）
教頭
加茂川義靖（上越市城東中）

▽蒲生小・教頭
江口賢治（清里村櫛池小）

▽奴奈川小・校長
塚本宇男（柿崎町柿崎小）

▽茑平小・校長
小山憲雄（高柳町門出小）

▽蓬平小・校長
佐藤英信（妙高村大鹿小）
教頭
高橋賢介（中之島町信条小）

▽松代中・教頭
福田伊治（上越市城西中）

【教　諭】

▽松代小・菅刈分校
福原律子（吉川町・旭小）
養護
岩島美智代（新規採用）

▽孟地小
福原将人
（上越市県立高田盲）

▽北山小
宮川哲夫
（上越市春日新田小）

▽蒲生小
武田比呂美（津南町上郷小）
加藤智恵（長岡市橘西小）

▽奴奈川小
佐野裕昭（上越市国府小）

▽儀明小
橋立正子（下田村飯田小）

▽茑平小
高浪聡子（柿崎町黒川小）

▽蓬平小
佐藤敏男（上越市城西中）

▽松代中
内藤正行（上越市城西中）
青山元一（柿崎町柿崎中）
伊倉真由美（新規採用）

【主　査】

▽松代小・栄養士
相沢雪枝
（松之山町松之山中）

◎県立松代高校
【教頭】

水島舜互（糸魚川高校）

【教諭】

本間　亮（新規採用）
大谷地　亮（新規採用）

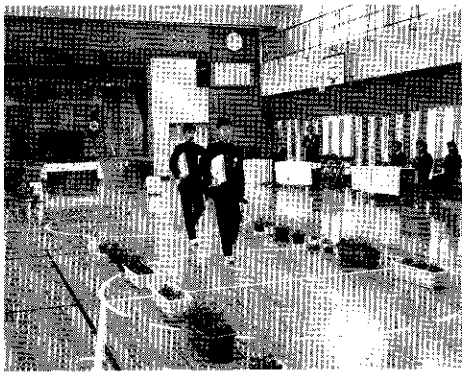
【主事】

水落憲裕（糸魚川土木）

校区のみなさんに惜しまれながら 休校（清水小）と閉校（海老分校）

三月二十四日、清水小学校で、児童数三人のうち二人が通い慣れた学舎を後にする卒業式が行われました。

第四十三回の卒業生となった五十嵐孝志君と小野島政樹君に、矢嶋継男校長先生は、清水小学校に入学した当時の二人の様子を語るとともに六年間で立派に成長したことを誉め、「十二歳の段階で十年後の自分の姿を想像し、中学校の三年間で目標をしっかり作って下さい」と激励しました。



◀温かい拍手に送られて卒業する二人

この日、一人で卒業生を送ることになった五十嵐輝幸君（二年）は、卒業式のお客さんの受付けをするなど朝から大忙し。四月から松代小学校校に通うことを「うれしいです」と、笑顔で答えてくれました。

休校となる清水小学校は、社会教育の場として、目的を変えて利用されることとなります。

▶それぞれの思いを胸に校歌を斉唱

翌二十五日には、孟地小学校海老分校で同校の閉校式が行われました。

明治五年、松之山村第五中学区第三十八番浦田口校付属海老校として、開設以来百十余年間、地域のシンボルとして学舎の灯をともし、四〇四名の卒業生を送り出しました。

「統廃合は時代の流れ。このたびの閉校は、新しい教育の出発点」と田中達久校長先生。関谷町長は「子供がいなくなるためとは言え、学校が無くなることは非常に残念。建物は除雪基地として建て変え、地区住民の冬期間の足を確保するために役立てたい」と話しました。

最後の在校生となった山岸ゆみ子さん（六年）、山岸克敏君（三年）、山岸智美さん（一年）は、四月から松代の小学校と中学校に通います。

社会現象とも言える児童数の減少。この影響をまともに受けるのが小規模の学校です。私たちの町には、一番多い時で小学校十九校、中学校が六校ありました。現在は小学校十二校、中学校一校に。そして、海老分校が閉校し、清水小学校が休校となります。

編集後記

〝読んでもらえぬ広報を寒さ（暑さ）こらえて作ります〟（都はるみのヒット曲「北の宿」の節で）と歌いながら原稿用紙とニラメッコしていたこの仕事とも、いよいよ今月号でお別れすることになりました。今まで無理な注文に快よく協力していただいた方々に心からお礼申し上げます。ありがとうございました。▼担当のくどき場、息抜き場として今までこの欄を埋めてきました。これを書くことで一種の安堵感みたいなものが感じられたのですから不思議なものです。とは言え読みづらい文章を一人で納得して皆さんに読んでもらうにはかなりの厚顔でないとできません。幸い今度の担当もかなりの厚顔？ 期待して下さい。

戸籍の窓口

（2月26日～3月25日受付）

げんきなよい子に（出生）

齋藤恒輔さん（ごうすけ）　文明・三千代さん（長男・田野倉・みせ）

幸せ多い人生を（結婚）

丸山久一・本山久美子さん（蒲生・とみん）

南雲　隆・白杵　香さん（室野・沖野屋）

ご冥を祈ります（死亡）

柳喜一郎さん　75歳（大伏・倉）

菅井三治さん　62歳（松代・すがい）

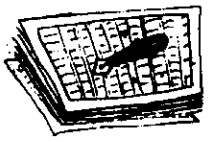
山岸榮作さん　76歳（蒲生・長兵ェ）

萬羽チイさん　74歳（松代・もえん）

秋山長一さん　64歳（清水・佐治院）

志賀イツさん　61歳（松代・近江屋）

文芸



短歌 冬の陣

富沢 和風

○夜もすがらふぶきし音も静まりて囀る小鳥に心和むも
○冬枯れの渋海の川に水来れば鴨が泳げり寄り添う如く
○冬の陣舞台整うグランドを清める如く新雪の降る
○春光に姿凜々しき若人の目指すお城は天空に立つ

蒲生俳句

失恋の猫かも潜む床の下　耕山

水光る流れに芹をすすぎおり　月日
呼び合いて琴習い行く春の月　ふさ女
清水湧く側（かた）えに伸びし蕗の薹　翔山
雪解水鴉も咽喉をうるおせり　鐵堂
昼休み少しぬるめの春炬燵　折人
雪灼けの白き歯を見せ卒業す　耕人
樹々の芽に雨烟りつつ降りしきる　泥水
妻も読む捕物帳や春灯（とも）　龍峰

しぶみ句会

参道の五十段掃く二月尽　八千代

裏山は雨にけぶりて二月尽　喜沙
春山にピアノ消えゆき母校閉づ　世香
囲碁習う窓に捉えしぼたん雪　紅茶
卒業の舗道を濡らすほどの雨　枯水
雪の上に桃の節句の花荷解く　去水
大寺の大榾つつく大火箸　公明
村分つ川越え来る猫の恋　昌弘
火葬場の煙突高き寒鴉　たつお
雪虫と歩み止めればすでに無し　淡水
春の暮終バス無人のまま過ぐる　六花

きわやか君

西村 宗

野に咲く花 コブシ

わが国の特産で、北海道からわが国全土に野生する。

四月下旬頃が花の見どころで、ブナの若葉と真白いコブシの花が春のやわらかい空をバックに咲き競い足もとに、残雪などは、この地ならではの希景と思う。

落葉高木で八㍍～十㍍位になり庭木や公園樹に用いられる。

名前の由来は、実の形がでこぼこで、握りこぶしのようであるところから。

棋将詰

出題 八段 北村昌男

●ヒント…飛車のさばき方が肝心。

10分で4級、5分で初段。

持駒 銀

	1	2	3	4	5	6
一	角			銀		
二						
三	歩		桂	角		
四	王	歩				
五						
六			飛			
七						
八						
九						

〈詰将棋正解〉2三銀、1三王、1六飛、2三王、3二銀、2二王、1二飛成、同王、3四角成、1三王、2三馬まで11手詰め。

〈解説〉2三銀を同王なら3二角成、1三王、1六飛まで。したがって1三王と引きますが飛車をさばき、7手目の1二飛成が快手です。1二飛成を1一飛成と欲ばっては失敗。